

LIBERAL&amp;DEMOCRATIC

# 自由民主



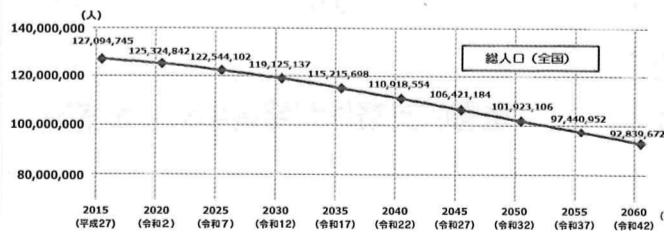
## ゆもと 良太郎 さん (46)

### ゆもと良太郎さんのプロフィール 46歳3児の父

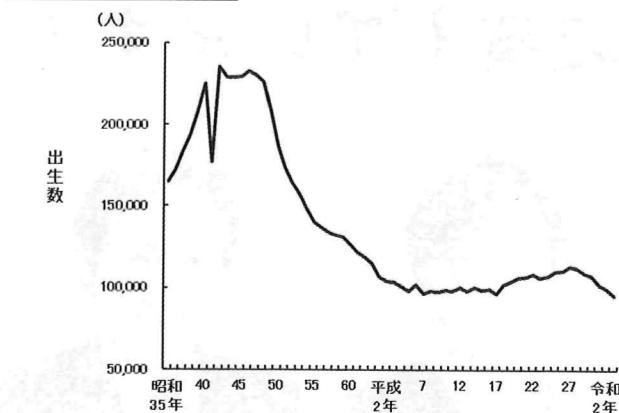
昭和51年5月10日	大田区大森生まれ（A型）。大森幼稚園・大森第五小・大三中・日大三高を経て明治大学商学部貿易コース卒。都議会議員秘書を経て。
平成15年4月	大田区議会議員選挙に自由民主党公認弱冠26歳で初出馬、初当選（5536票）。66候補者中、新人1位。
平成19年4月	大田区議会議員選挙2期目の当選（5419票）
平成27年4月	大田区議会議員選挙3期目の当選（5523票）。
平成31年4月	大田区議会議員選挙4期目の当選（7794票）。

・自由民主党大田区民連合 幹事長  
・大田区議会ICT化調査・研究会会長  
・大田区議会政務活動費検討会会長  
・国際都市おおた協会 評議員  
・大田区スポーツ協会 評議員

### 日本人口推移



### 東京都出生数推移



発行所  
自由民主党本部  
郵便番号 100-8910  
東京都千代田区永田町 1-11-23  
電話 東京 03 (3581) 6211 (代表)  
<毎週火曜日発行>  
自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>



TOKYO自民党は、4月23日投票で行われる大田区議会議員選挙にゆもと良太郎さんの公認を決定し、必勝を期しています。  
ゆもと良太郎さんは、大田区政に臨む決意を力強く語っています。

## 明日のために「今やるべきこと」がある

### 人口減少社会への対応

労働力不足は社会全体の課題、「デジタル活用による仕事の効率化」・「海外人材の活用に向け国際化への対応」は必須のテーマです。

- ◎社会全体のデジタル化推進を支援します。
- ◎デジタルが苦手な人（デジタル難民）も適応できる支援を行います。
- ◎外国人が日本社会に適応できる支援をします。
- ◎SDGs：カーボンニュートラルなど「価値観」の多様性が認められる社会の実現を目指します。

### 異次元の子育て支援強化を実現し、少子化にSTOP

令和3年東京都の出生率は1.08%。少子化を解消する為には子育ての負担を軽減する支援策が必要です。妊娠期～乳幼児期～学齢期～社会人 伴走型の子育て環境を整えます。

- ◎出産後～3歳頃まで、お母さんは心身共に大変です。サポート体制の強化を図ります。
- ◎保育と幼児教育をバランスよく行える環境を目指します。
- ◎学齢期になっても社会が子育て支援をできる環境が必要です、児童館の配食サービスなど働く両親を応援します。
- ◎奨学金制度を受けられる対象となる学生が少なすぎます、もっと多くの機会を作る為に対象要件の緩和を目指します。

### これからの社会を支える子供への教育

次世代を担う子どもの為に、教員がもっと生徒と向きあえる教育現場を作ります。

- ◎公立小学校の教科担任制導入を目指します。
- ◎部活動は地域人材や公共施設の活用を図るなど更なる工夫をします。
- ◎理数系・英語・体育 など特化校を増やします。特化校で成果の上がった取組は大田区全校へ展開。
- ◎校則の見直しを図ります、今の時代に合った校則へ。
- ◎学校給食の無償化を目指します。

### どこに住む？「大田区がいい！」みんなに選ばれる街 大田区を創ります

◎安心・安全は生活の根幹。デジタルを活用した治安強化と、計画的な防災力向上を図ります。

- ◎徒歩・自転車・車いす・ベビーカー、自動車、バイク、公共交通など移動の手段は様々、公共交通と併せてシェアサイクルやデマンド交通、舟運など新たな移動手段の活用も視野に入れ交通利便性の高い街を創ります。
- ◎新空港線整備と併せて蒲田周辺、大森駅周辺、臨海部への結節点でもある平和島駅周辺など、中心市街地の都市機能を更新し街のブランド価値を上げます。
- ◎ふるはま（大森のビーチ）、平和の森、平和島公園など自然豊かな大田区の特性をもっと活かして潤いのある生活の実現を目指します。

◎急な体調不良、そんな時に適切な医療サービスをうけられる大田区を目指し、地域医療の充実を図ります。

- ◎高齢者の一人暮らし・高齢夫婦2人の生活も安心できる社会を創ります。
- ◎空き家対策が思う様な効果を上げていません、支援策の強化を図ります。
- ◎協同労働法を活用し、地域課題を住民が解決できる支援をします。

### ゆもと良太郎事務所

〒143-0011 東京都大田区大森本町2-31-10  
TEL.03-3765-1464 FAX.03-3765-1482  
<http://www.yumoryo-otacity.jp>  
[info@yumoryo-otacity.jp](mailto:info@yumoryo-otacity.jp)



☆議会や委員会などの公式発言で最も重視したのは「次世代への継続性」今までの経緯を大切にして、これから先の未来をつくる。この視点を軸に政治を前へ進めます。

# 「区民満足度の向上と選ばれる自治体づくりへ」

令和2年以降、大田区では転出超過が大きな課題となっており、特に働き盛りの子育て世帯の減少傾向が顕著となっています。令和7年には、団塊世代の皆さんが75歳以上の後期高齢者となり、若い世代の区外流失は、支える側の減少による自治体の持続可能性にも影響を与えるものとなります。こうした状況を踏まえ、私たち大田区議会の自民党は、選ばれる自治体づくりに全力で取り組んでいます。

※「転出超過」：区外に転出した方の数が、区内に転入した方の数を上回った状態。

## ①子育て世代に選ばれる環境整備を！

子育て世代が仕事をしながら、安心をして子ども育てることが出来る環境を作るため、平成27年より私たちは認可保育園等の整備を促進し、令和3年4月に待機児童ゼロを達成しました。また、新型コロナ感染症やロシアのウクライナ侵略による影響を受けた原油高、物価高騰への対策として子育て世帯への特別給付金事業の実施（所得制限なし）、子ども医療費無償化制度の高校生への拡大（今年4月から実施）などを実現してきました。また教育分野においては、不登校の子どもたちに魅力ある学びの場を提供し、個性を伸ばしていくため不登校特例校分教室「みらい教室」の整備を進めました。引き続き、子育て世帯が安心して出産、育児を行っていくことが出来るよう子ども関連予算を増やし、周産期の支援体制の強化、就学費用の負担軽減、魅力ある学校づくり等に取り組んでいきます。



## ②新空港線とこれからのまちづくり

昨年、大田区の長年の悲願であった新空港線の整備に向けた取り組みが大きく前進しました。新空港線はJR・東急蒲田駅と京急蒲田駅の800mを鉄道で結ぶことにより区内の東西交通の利便性が向上するだけでなく、東京圏北西部とつながり広域的な鉄道ネットワークが形成されます。また、区の最重要課題の一つである蒲田駅を含んだまち全体の機能更新（蒲田のグランドターミナルとしての再編）、踏切対策等、沿線まちづくりを併せて進めることにより地域の活性化にも寄与するものです。私たちは、新空港線（一期整備）の早期実現を目指すと共に、二期整備（京急蒲田駅～大鳥居駅）についても関係地域の皆様と協議を行いながら、具体的な整備検討に着手してまいります。



## ③重層的支援体制整備事業の推進 ~切れ目のない支援~

ひきこもり、ヤングケアラー、8050問題など、複合化、複雑化した課題を抱える家庭へ、切れ目のない支援を行うための「重層的支援体制整備事業」の実施を求めてきました。結果、今年度より大田区では、「重層的支援体制整備事業」実施のための準備事業をスタートし、福祉関係の多機関連携によるチーム支援の強化と検証を進めています。また、社会的孤立等で自ら窓口におもむくことができない方への支援を強化するため、大田区ひきこもり支援室SAPOTAを開設しました。令和五年度は、「重層的支援体制整備事業」を本格実施し、だれ一人取り残さない大田区の実現を目指してまいります。



都議会議員

鈴木あきまさ

松原区政を継承し、あたたかさ  
あふれる大田区政をつくっ  
てまいります。  
自民党区議団の皆様と  
一緒にがんばります！



私たちも応援しています！



松原 忠義



平 将明



鈴木 章浩